



発行：西宮市議会 編集：広報委員会 〒662-8567 西宮市六湛寺町10番3号 ☎(0798)35-3377



「秋の甲山」撮影：濱田 牧子さん（川添町在住）

今年8月～9月に募集した作品の中から広報委員会において、上の作品が選ばれました。

目次

- 一般質問 2～5
- 請願 5
- 各委員会の活動状況 6
- 9月定例会 主な審議日程 6
- 市議会の仕事 7
- 平成23年度市議会の主な活動 7
- 議案等審議結果一覧表 8
- 12月定例会 開催日程（予定）など 8

9月定例会の主な内容

《市長提出議案等》

平成23年度決算
 △平成23年度の各会計決算を認定しました。一般会計の前年度との比較では、歳入で、国庫支出金などが増加する一方、市税収入などが前年度並み、地方交付税などが減少、歳出では、特別養護老人ホーム整備事業費、東部総合処理センター整備事業費などが増加する一方、小学校児童急増対策事業費などが減少しています。

カッコ内は前年度比

企業会計		一般会計	
当期純利益 (▲純損失)	利益	特別会計 (11会計)	一般会計
歳出	歳入	歳出	歳入
722億	728億	1687億	1726億
419万円(3・6%増)	9700万円(4・0%増)	540万円(7・9%増)	431万円(7・7%増)
9億8043万円	1億570万円	▲7678万円	

条例

△地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の公布に伴い、施設等の設備基準等を定めるため、西宮市介護老人保健施設の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準を定める条例案等を可決しました。

その他

△平成24年度の一般会計補正予算を可決しました。
 △第三セクター等の経営の健全性等の評価等の報告を受けました。

《人事案件》

▽選挙管理委員（4名）、同補充員（4名）の選挙を行いました。

紙面中の一部の会派名は、略称で掲載しています。
 公明党…公明党議員団、政新会…政新会、蒼士会…蒼士会、市民ク改革…市民クラブ改革、日本共産党…日本共産党西宮市会議員団、むの会…むの会

一般質問 要旨

質問順に掲載しています

9月定例会では19人の議員が9月5、6、7、10日の4日間の都合から、質問を要旨で掲載し、一部「問」の部分を作成しています。

法定外公共物の適正管理を

(無所属) たかはし 倫恵

問 地方分権により国有財産だった里道・水路等(機能有るもの)が、市へ無償譲渡された夙川学院敷地内の水路もその一つだが、市が水路を売却していた事が判明。財産管理上、市の条例整備に漏れないのか。

答 法定外道路管理条例や水路管理条例などがあるが、本来の機能を有しない法定外公共物についての管理条例はないため、早期に検討し、適正な施設管理に努める。

市民後見人の活動支援は

(無所属) たかはし 倫恵

問 認知症が予測を上回る速

さで急増。成年後見にあたり、市民後見人の資質向上や活動支援への市の考えは。

答 権利擁護支援員の研修修了者で後見活動の希望者に、福祉サービス利用援助事業の支援員として活動してもらう予定で、資質向上を含め支援に取り組む。

津波地震対策工事 早急に実施を

(蒼土会) 草加 智清

問 津波地震対策に、津波の遡上による水面上昇に対する対策やコンクリートの護岸の強度を上げるなど、更なる武庫川堤防の強化が必要である。また、防潮堤の防潮門扉の液状化の調査や対策工事を実施すべきでは。

答 液状化も含めた耐震診断調査を踏まえ、県が整備計画を策定している。本市は耐震補強工事などの早急な実施と、新たな地震被害想定は津波でも安全な防潮堤の整備を県に要望する。

市道西448号の道路拡幅整備は

(蒼土会) 草加 智清

問 鷲林寺地域の活性化として、更なるまちづくり支援を実施し、市道西448号の道路拡幅整備を早急に進めるべきでは。

答 片側に歩道を整備する基本設計に着手したが、多額の費用を要する。国土交通省と協議し、第4次総合計画後期の事業着手に向けて努力していく。



市道西448号

公証役場を本市に誘致する働きかけを

(市民ク改革) 田中 良平

問 高齢化社会を迎え公正証書遺言などの公証業務のニーズは増えているが、人口においても県下第三位となった本市に公証人役場を誘致する働きかけを

してはどうか。

答 任意後見制度などの活用が高まれば、公証役場の重要性が大きくなることも考えられる。今後、法務局に働きかけるなど誘致を検討する。

在留資格を持たない外国人への対応は

(市民ク改革) 田中 良平

問 制度変更により、住民登録できないこととなる外国人について、以前から受けていた保健・就学等の住民サービスは、制度変更後は不具合がないのか。

答 予防接種や母子健康手帳の交付は、支障なく実施できている。在留資格を持たない子どもの就学は、保護者から就学申請があれば、家庭の状況や居住地などを確認し、許可している。

公開空地の夜間閉鎖 市の考えは

(市民ク改革) 花岡ゆたか

問 公開空地とは「歩行者が日常自由に通行できるもの」と定められているにも関わらず、夜間これを閉鎖している物件がある。市はどう考えるのか。

答 原則、公開空地は常に開放すべきだが、やむを得ず夜間の最小限の時間に限り閉鎖を認めているものがある。公開空地の安全性、防犯性及び利便性など個々の実情を配慮しつつ、適正な管理に努める。

市職員の勤務時間内 禁煙の実施を

(市民ク改革) 花岡ゆたか

問 市職員が業務時間内にタバコ休憩をする事に対して、市は年間2億円以上支払っている

計算になる。また、市職員には職務専念義務がある。市職員は業務時間内禁煙としてはどうか。

答 勤務時間内は節度ある範囲内で認めているが、今後は、全国他都市の先進的事例などを吟味し、禁煙の促進に努める。

「いじめ問題」 命を守る学校に

(日本共産党) 佐藤みち子

問 2011年10月、大津市の中学2年生の生徒が自殺した事件が起こり、事実確認・真相説明が不十分であり、全国から批判がある。いじめの対応については、早期発見、早期対応が大切であるが現在の40人学級では、教師が一人ひとりの子どもを把握するのは困難になっている。現在は県の制度で小学4年生まで35人学級を実施しているが、国が中学3年生まで少人数学級を実現するまでの間、市独自でも進めるべきではないか。

答 現時点では、県の進める新学習システムを推進、充実し、その成果の検証を行っており、市独自の少人数学級の編制は、必要な教室や教員の独自採用の問題、財政面などから解決すべき課題が多く、実施は困難であ

ると考える。従前から教育委員会と学校現場の連携を図っているが、今後とも、現場の声を聞き教育行政を進めていきたい。



市長と

教育委員会の連携は

(むの会) 西田いさお

問 いじめについて、大津では、情報の開示が遅れ、教育委員会や学校の体質問題となり、市長の介入などとなった。本市における市長と教育委員会との連携はどうか聞きたい。

答 今年度から、教育委員との懇談会は、議論を深める場として要綱を整備し、「西宮市教育政策懇話会」としてスタートさせた。今後も、教育委員会と情報共有を図り連携していく。

**「5つめ問題」
相談できる組織を**

(むの会) 西田いさお

問 いじめの被害者、目撃者、学校関係者(教師も含む)が秘密裡に情報の提供や相談ができる

る組織の設置を提案するが、考えを聞きたい。

答 情報提供があれば、早期解決に向けた迅速な対応ができる。現在の国、県、市の電話相談などの連携を考え、相談機関のネットワーク活用を検討する。

**生活保護受給者の
子どもへの学習支援は**

(公明党) 松山かつのり

問 生活保護受給者の家庭では、経済的に余裕がなければ学習に充てることは困難で、チャンスにも恵まれず、進学の面などで教育格差が生じてしまう。学問は平等に受けるべきであると思うが市としての考えは。

答 生活保護需給世帯の子どもに対する学習支援は重要であり、既に学習支援事業を実施している他の自治体の取り組みを参考にしつつ、本市における事業の在り方を検討している。

**津波避難ビルの
深夜の対応は**

(公明党) 松山かつのり

問 災害はいつ起こるかかわからない。もし深夜に起こった場合、指定津波避難ビルや避難場所とは間違いなく使用できるのか。

答 公共施設は夜間など無人

の施設もあり、緊急時の出入り口の設置などを検討する。民間のビル管理者には、出入り口の迅速な開放などをお願いする。

**DV防止の啓発活動
市の取り組みは**

(無所属) 谷本 豊

問 DV防止の啓発活動として、冊子の配布や中学校・高校へのデートDV防止の出張授業等が重要と考えるが、市はどのような取り組みをしているか。

答 啓発パンフレットを中学生、高校生全員に配布し、生徒や教職員へデートDVに関する出前講座、保護者などに向けて主催講座や講演会を開催した。



デートDV防止の啓発冊子

**ハート購入法の施行
市の抱負は**

(政新会) 坂上 明

問 障害者の就労促進と所得向上を最大のねらいとする「国

等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律(ハート購入法)」が、先の国会で成立し、来年4月に施行される。これはまさしく障害者の真の自立に向けての出発点であり、この記念すべき年度の障害者施策について、本市としての抱負をお聞きしたい。

答 本市では国の動きに先駆け、方針を定め、市内の障害者の雇用の促進及び就労の安定を図ることを目的とした取り組みを進めてきた。今後は国の動向もしっかりと見据えていくと同時に、これまで本市が独自に進めてきた福祉的就労から一般就労に至る多様な就労の在り方を支援するほか、生活支援、権利擁護など幅広い福祉施策を押し進めることにより、障害のある人の自立した生活を支えていきたい。



**UR借り上げ住宅
返還以外の方法を**

(日本共産党) 杉山たかのり

問 市はUR借り上げ市営住宅を返還し、他の市営住宅へ転居させる方針だが、転居困難な入居者が多数となっている。他の方策を検討するべきでは。

答 借り上げ期間の満了をもってURへ返還するという基本方針に基づき、国や県の動向も注視しつつ、入居者の理解と協力を得ながら、住み替えを進めていきたい。

**資金余裕を充て
水道料金引き下げを**

(日本共産党) 杉山たかのり

問 西宮市の水道料金は高く、特に基本料金までの使用は割高となっている。高すぎる料金による資金余裕約26億円を活用して、次期財政計画に引き下げを盛り込むべきかどうか。

答 給水収益は減収傾向となつてきている。また、施設整備や老朽管路の耐震化などを進めており、現時点では、料金の値下げを見込むことは厳しいと考える。

(一般質問は4、5面にも掲載)

一般質問(続き)

環境行政

市の取り組みは

(市民ク改革) 岩下 彰

問 「未来につながる生物多様性にしのみや戦略」で私たちのくらしと生物多様性は関わりありとあるが、今後どのように取り組んでいくのか。

答 市民、事業者、行政の各主体の学び合いとパートナーシップにより、継続的に調査を実施し、経年変化や地域特性の把握に努め、生物多様性の保全に向けた取り組みを推進する。



広田山公園のコバノミツバツツジ

教室の環境整備

予算の確保は

(市民ク改革) 岩下 彰

問 子ども達が毎日生活をすすめる教室の環境整備が重要であるが、移動(上下に)可能な黒板や掲示しやすい壁面作りの為予

算確保をどうするのか。

答 学校配分予算では整備を複数の教室で一気に行うことは困難であることから、今後は、教育委員会が直接執行する予算での対応が可能かどうか、検討する。

高木小学校区で

分校の整備を

(蒼士会) 今村 岳司

問 準受入困難地区の高木小学校区の北部には、校地として整備可能な面積のある宅用地がある。これらを取得して分校を整備するつもりはないか。

答 教育環境の課題解決に向け、あらゆる可能性を検討する。

安定的な公共施設

マネジメントの推進

(蒼士会) 今村 岳司

問 公共施設整備の予算確保は、各部署に任せるのではなく各部署の事業予算外に確保し、財政計画を、現在進めている第4次総合計画後期計画の見直しに反映すべきではないか。

答 公共施設マネジメントの基本的な方針案として、維持管理費は今後5年間で10%、施設総量は長期的な視点から20年間で10%、50年間で20%というよ

うに具体的な削減の数値目標を掲げた。計画的な修繕や改築に係る経費については、財源を確保する方策なども検討を進める。

女性の就労支援窓口

駅近くなどに開設を

(公明党) 竹尾ともえ

問 働きたい女性のための就労支援は、重要な子育て支援策だと考える。駅近くなどに女性の就労支援窓口、マザーズハローワークを開設してはどうか。

答 しごとサポートウェブにしきたを開設し、職業紹介や女性のための就労相談会などを実施する。これまで以上にハローワーク西宮と連携し女性の就労支援に取り組む。



しごとサポートウェブにしきた

「赤ちゃんの駅」

設置に市の考えは

(公明党) 竹尾ともえ

問 乳幼児期の親子のおでか

け支援として、外出先で授乳やオムツ替えなどができるように市内各施設へ全国的にも広がる「赤ちゃんの駅」の設置に対する市の考えはどうか。

答 既に公共施設で、おむつ交換用のベッドや授乳室の整備を進めている。今後は、赤ちゃんの駅の名称使用や登録制度を、他都市の事例を参考に研究する。

学校でのがん教育

市の考えは

(公明党) 白井 啓一

問 学校でのがん教育は、次世代を担う子どもたちに取り、がんの予防法や早期発見の重要性、治療の学習を通じて「生命の大切さ」を学ぶ、大事な取り組みだと思うがどうか。

答 子どもに対するがん教育の在り方は、保健体育における学習だけでなく、総合的な学習の時間なども利用した取り組みに広げる必要があると考える。

救急医療情報キット

配布対象者の拡大を

(公明党) 白井 啓一

問 高齢者や障がいのある方が、住み慣れた地域で安心して暮らせるため、救急医療情報キットの導入を、全市的に取り組

む必要があると思うがどうか。

答 全市的な配布に取り組み必要性は高いと考える。配布方法については、対象年齢の一律的な拡大を行うのではなく、戸別訪問により、必要に応じて配布を行うことが重要である。

肺炎球菌ワクチンの

公費助成を

(公明党) 山口 英治

問 肺炎球菌ワクチン公費助成を求める63、742署名を受け一刻も早く公費助成をすべきと思うが市の見解を求めます。

答 公費助成を独自で実施することは財政状況から困難であるが、基礎疾患を持つ高齢者などリスクの高い人への助成事業の実施を、今後調査研究する。



子ども・子育て

組織の連携強化を

(公明党) 山口 英治

問 子ども・子育て関連組織の連携強化はもとより、場合によっては神戸市や横浜市のよう

局といった組織の再編も含めて考えるべきと思うが、市の見解を求める。

答 子ども・青少年が成長段階に合わせた切れ目のない支援を受けられるよう、一貫した施策の展開が必要であり、組織の連携強化が課題である。本市の特性に合う組織体制を検討する。

多様性

LGBTへの理解を

(むの会) 長谷川久美子

問 岡山大学病院を性同一性障害で受診した人への調査によると、80%が物心ついた頃から小学校時代に自分の性に違和感を覚え始め、大半が悩み、いじめの対象や不登校になる子どももいる。多様な性への理解は。

答 多様な性にも理解を深め、対応できるよう、行動面だけではなく、環境面からも広く児童理解を深め、ニーズに応じた支援が図れるよう、医療、福祉などの関係機関との連携を図る。

中学校の学校給食

牛乳パックの洗浄は

(むの会) 長谷川久美子

問 小学校は飲み終わった牛乳パックを洗浄して資源回収だが、中学校では洗わずに出して

いる。今後の中学校での対応は。答 全校で一斉に始めることは困難だが、小学校からの環境学習の連続性を図るため、中学校の実態に合わせ、可能な方法を学校現場とも連携し検討する。



防犯灯維持管理事業

適正な補助金執行を

(政新会) 川村よしと

問 西宮市は、防犯灯の電気代や電球の取り替えのために、西宮防犯協会本部、各支部を通して、実務を行う自治会に約5850万円の補助金を交付している。この補助金から会費を差し引き、全額を自治会に交付していない支部の存在が確認されているが、これは補助金の目的と異なる差し引きであるので、全額が自治会に交付されるように改善すべきである。今後の対応は。

答 防犯灯の設置・維持管理は、西宮防犯協会、甲子園防犯協会を通じ、地域できめ細やかな活動を実施してもらっている。市としては、補助金の適正な執行、透明化を図ることは重大な課題と認識しており、西宮防犯協会の一部の支部と分会の間で会費の差し引きが行われている点については、早急に是正されるよう、西宮防犯協会に対して厳しく指導していく。

色覚検査再開の

取り組みは

(政新会) 吉岡 政和

問 学校における色覚検査開始に向けた取り組みについて明らかにせよ。

答 医師会眼科医会と調整し、学校医による色覚に不安を持つ児童生徒への相談・検査の協力を求め、校長会やPTA協議会にも色覚に係る健康相談の実施の理解を求めた。2学期中には公立の全小・中学校で小学校4年生以上の希望者に色覚検査に係る健康相談を実施する。

青葉台と花の峯の

連絡道の整備を

(政新会) 吉岡 政和

問 青葉台と花の峯を結ぶ連絡道は地域コミュニティは勿論の事、防災上も必要と考えるが、整備に向けた当局の方針を示せ。

答 東日本大震災を踏まえ、補助採択基準の運用が変更され、

補助事業に採択される可能性が出てきた。国・県と協議の上、事業化への調査を行い、整備年度などに関係部局と調整する。

放課後子ども教室

人材確保の仕組みを

(蒼士会) 田中 正剛

問 放課後子ども教室を行うにあたって、子どもに実体験を提供する講師や学習アドバイザー等を確保する仕組みが必要と考えるが、市の見解を聞きたい。

答 各地区の意見を聞き、元教員などを有償ボランティアのコーディネーターとして配置するなど、事業と人材を結ぶ仕組みづくりを検討する。

介護サービス事業者

指導監査体制は

(蒼士会) 田中 正剛

問 高齢者が安心して、必要な介護サービスを受けられるよう、高額請求する等の悪質業者から高齢者を守る仕組みが必要である。介護サービス事業者の指導監査体制を聞きたい。

答 今年度は、市内の全ての事業所に、職員配置状況や報酬算定状況を提出してもらい、全体像把握に努めている。また、実地指導や実地監査を実施する

事業所の選定も予定している。

請願



【採択】

○学習指導要領に基づき、我が国の領土領海に関してより丁寧な指導が為されることを望む請願

○障害者の就労を通じた生活保障についての請願

【みなし採択】※

○「高校無償化」の前進と「給付制奨学金制度」を求める請願

※「みなし採択」とは、同じ趣旨の意見書案が可決されたため、「採択」とみなされたものです。

【不採択】

○保育所設置認可等要綱の基準を条例化するにあたって現行の保育所最低基準を守り向上させる請願

○西宮市動物管理センターの適正で適法な運営を求める請願

【継続審査】

○西宮市立小学校に一刻も早くエアコン設置を求める請願

各委員会の活動状況

総務常任委員会

定例会 省令の改正等に伴う火災予防条例の改正や、一般会計補正予算など議案2件、陳情1件を審査しました。また、西宮コミュニティ放送株式会社の経営改善状況などについて報告を受けました。

閉会中 委員会を1回開催しました。第4次西宮市総合計画の中間見直しの協議を行いました。

市民文教常任委員会

定例会 一般会計補正予算の議案1件、請願3件を審査しました。また、学校給食費の公金化の進捗状況及び今後の予定などについて報告を受けました。

閉会中 委員会を2回開催しました。市立上ヶ原小学校及び段上西小学校の通学路の視察を行いました。また、西宮都市管理株式会社の平成23年度決算状況等について報告を受けました。

厚生常任委員会

定例会 地域主権改革一括法の

公布等に伴い、所要の基準を定めるための介護老人保健施設の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準を定める条例等の制定や、廃棄物の処理及び清掃に関する条例の改正など議案21件、請願3件を審査しました。また、市立朝日愛児館について報告を受けました。

閉会中 委員会を2回開催しました。東部総合処理センターの視察を行いました。また、株式会社鳴尾ウォーターワールドの平成23年度経営状況等について報告を受けました。

建設常任委員会

定例会 一般会計及び下水道事業会計補正予算や、市営住宅等の明渡しなどを請求する訴え提起の件など議案5件、陳情1件を審査しました。また、水道局未利用土地活用の進捗状況と土地取得等などについて報告を受けました。

閉会中 委員会を1回開催しました。浜甲子園団地の視察を行いました。

決算特別委員会

定例会 決算特別委員会は、平成23年度各会計決算及び関連議案を審査するため、9月定例会において、議長を除く議員41名を委員として設置されたものであります。委員会に5つの分科会（総務・市民文教・厚生・建設・病院問題の各分科会）を設け、それぞれの所管ごとに決算などの審査を行いました。

病院問題特別委員会

定例会 公立病院の役割（担うべき医療）について協議を行いました。

閉会中 委員会を3回開催しました。今後の調査すべき内容と日程、西宮市において不足している医療、公立病院の役割（担うべき医療）、近隣公立病院への視察の検討などについて協議を行いました。

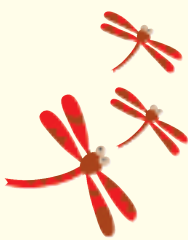
議会改革特別委員会

閉会中 委員会を4回開催しました。各常任委員会等における所管事務懇談会・施策研究テーマ、視察旅費、議会役職者の報酬加算、正副委員長の職責、委

員会の傍聴、議会基本条例の制定、災害発生時における議員及び議会対応マニュアルなどについて協議を行いました。委員会と決定した事項のうち、議会として申し合わせや確認の必要な事項（各常任委員会等における所管事務懇談会の実施要領、正副委員長の職責、委員会の傍聴等に関する事、並びに災害発生時における議員及び議会対応マニュアル制定など）については、議会運営委員会に報告することとなりました。今後は、議会基本条例の制定に向けた協議などが行われる予定です。

定例会：9月定例会中の活動内容

閉会中：6月定例会閉会後から9月定例会開会前までの活動内容



9月定例会

主な審議日程

9月							8月	
28日 (金)	27日 (木)	26日、25日、24日 (水、火、月)	18日 (火)	14日 (金)	12日 (水)	10日 (月)	7日、6日、5日 (金、木、水)	30日 (木)
決算特別委員会(全体会議、採決(決算など))	病院問題特別委員会	決算特別委員会 (総務・市民文教・厚生・建設分科会)	別会計決算、一般会計決算、特別会計決算(全体会議)	病院問題特別委員会	常任委員会 (総務・市民文教・厚生・建設)	本会議 一般質問(2人) 質疑、委員会付託など	本会議 一般質問(計17人)	本会議 提案説明など

議会情報は…

<http://www.nishi.or.jp/homepage/shigikai/>または、西宮市議会 で 検索 してください。

市議会の仕事



西宮市を暮らしやすいまちにするために、さまざまなことをみんなで話し合っ決定していくことが必要です。しかし、市民全員があつまることは不可能に近いので、市民は「市議会議員」や「市長」を選挙で選び、市政の運営をゆだねます。

市議会には市民の代表としての役割を果たすために議決権など多くの権限が与えられています。これらの権限に基づいた市議会の仕事をご紹介します。

議決

市議会では、会議を開き、重要な事柄に対して、議会の意思を決定します。これを議決といいます。議決により、条例を制定したり、予算を定めたり、決算を認めたりします。

市政のチェック

市の事務が正しく行われているか調査し、報告を求めます。また、市の仕事の進め方や出納の検査をします。さらに、監査委員に監査を求め、実情を調べて報告してもらうこともできます。

選挙

議長や副議長、選挙管理委員などを選挙で選びます。

意見書の提出

市民の暮らしに関する身近な問題でも、それが、国や県、または民間企業の仕事であるため、市の力だけでは解決できないことがあります。このような場合に、市議会の意思を「意見書」として関係機関に提出し、改善や解決を求めることができます。

同意

市長が副市長、監査委員を選任するときや教育委員会委員を任命するときなど、重要な人事に関しては、市議会の同意が必要となります。

請願・陳情の審査

市民からの要望書を受理し、市議会にかけることができます。

平成23年度 市議会の主な活動

		10月	↓ 決算の採決など（決算特別委員会、本会議） （閉会中） 市民文教常任委員会（管外視察）／ 厚生常任委員会（管外視察）／ 議会改革特別委員会／広報委員会
5月	（閉会中） 議会運営委員会	11月	議会運営委員会／総務常任委員会（管外視察）／ 厚生常任委員会／建設常任委員会（管外視察）／ 議会改革特別委員会
6月	議会運営委員会／議員総会 6月定例会（6/20～7/8） 議長など議会役職の選挙・選任 提案理由説明など（本会議） 一般質問（本会議）	12月	12月定例会（12/5～12/21） ↓ 一般質問（本会議） 議案の審査など（委員会） 議案の採決など（本会議） （閉会中） 議会改革特別委員会／広報委員会
7月	↓ 議案の審査など（委員会） 議案の採決など（本会議） （閉会中） 市民文教常任委員会（管内視察）／ 厚生常任委員会（管内視察）／ 議会改革特別委員会／広報委員会	1月	議会改革特別委員会／広報委員会
8月	議会運営委員会／建設常任委員会（管内視察）／ 議会改革特別委員会／ 病院問題特別委員会／広報委員会	2月	議会運営委員会／総務常任委員会／ 議会改革特別委員会 3月定例会（2/24～3/26） 行政方針の表明（本会議）
9月	議会運営委員会 9月定例会（9/2～10/4） 一般質問（本会議） 議案の審査など（委員会） 議案の採決など（本会議） 22年度決算の審査（決算特別委員会）	3月	↓ 代表質問・一般質問（本会議） 議案の審査など（委員会） 24年度予算の審査（予算特別委員会） 予算など議案の採決など（本会議） （閉会中） 議会改革特別委員会／広報委員会

本会議の詳しい発言は、12月初旬には図書館・支所・公民館でご覧になれます。

